

Odds Park Club

vol.73

2024.4~6

Graded Dirt Races

- 4/ 3 川崎記念 JpnI(川崎)
- 4/ 4 兵庫女王盃 JpnIII(園田)
- 4/10 東京スプリント JpnIII(大井)
- 4/29 兵庫チャンピオンシップ JpnII(園田)
- 5/ 1 かしわ記念 JpnI(船橋)
- 5/ 6 名古屋グランプリ JpnII(名古屋)
- 5/ 8 エンプレス杯 JpnII(川崎)
- 6/12 関東オークス JpnII(川崎)
- 6/19 さきたま杯 JpnI(浦和)
- 6/26 帝王賞 JpnI(大井)

園田競馬特集
ジョッキータビユ
鴨宮祥行騎手



私的名馬録

真夏の夜に突然の別れ オオエライジン

雄叫びに似た歓声が大井競馬場のスタンドから沸いた。「イグナイター！行けー！」。熱狂に呼応して笹川翼騎手は右ムチを振り、イグナイターはさらに一段階、加速した。

昨年のJBCスプリントJpnIを兵庫所属馬として初めてイグナイターが制覇した瞬間、涙とともに浮かんできたのは、オオエライジンの懸命の走りだった。

あれはまだ地方競馬が不況にあえいでいた2010年だった。8月の園田競馬場でオオエライジンはデビューした。私が出会ったのはその大晦日。友人と場内の食堂でおでんを頬張りお酒を飲んでた日だった。

「今日の重賞・園田ジュニアカップに大恵さんと同じ名前の馬が出ているよ」

珍しい苗字が冠名になった競走馬がこの世に存在するなんて驚いた。アルコールでふんわり楽しくなったことも加勢し、単勝馬券を買って応援したら、酔いがさめるほど強かった。そして、勝手に運命を感じた。

3歳春はトウ骨骨膜炎で兵庫ダービーは3カ月ぶりのぶつつけとなりながらも、1周目ゴール前から菊花賞馬ホクセツサンデーとのマッチレースで3番手以下を大きく離

し、最終的に7馬身差をつけて圧勝した。

そして無敗のダービー馬となって挑んだのが、大井競馬場で行われた黒潮盃だった。当時はいま以上に南関東は兵庫にとって“挑戦の場”。ライジンは初ナイターで照明にビックリして、まともに返し馬ができなかったが、半馬身差で勝利をもぎ取った。レースのたびに杯を交わしながら熱く馬談義を繰り広げていた木村健騎手と調教担当の橋本忠明調教師補佐（ともに現在は調教師）は大きな1勝に堅い握手を交わした。真夏の夜、ライジンにとって大井は歓喜に満ち溢れた場となったのだ。

ところが、そこからがもどかしい日々が続いた。2年連続で兵庫ゴールドトロフィーJpnIII・3着。途中、大井への電撃移籍もあったが、鼻出血により未出走のまま兵庫に戻ってくると、新たな厩舎で再出発した。あと一歩まで届きかけていたダートグレード制覇の瞬間をこの目で見たくて、私はアルバイトで貯めたなけなしのお金を手に、夜行バスに乗って全国各地に応援に行った。

しかし、突然の別れは真夏の夜の大井で訪れた。14年帝王賞JpnIの直線で、外に出して追い出されたはずのライジンをいつの間にか見失った私に「競走中止した」と競馬リポーターの赤見千尋さんが教えてくれた。頭が真っ白になり、カメラマンの波をかき分けて4コーナー方向へと走って行



デビューから7連勝で兵庫ダービー制覇

った。けれど、遠すぎて何も見えなかった。ライジンは左前球節部完全脱臼で安楽死となった。そこからの記憶は曖昧で、カプセルホテルで枕を押し付けてワンワン泣いていた。

あれから9年。ライジンが渴望したダートグレードどころか、JBC制覇までもイグナイターが成し遂げた。それも、ライジンが輝き、息絶えた大井の地で。JBCスプリントJpnIの優勝レイをかけて誇らしげに歩くイグナイター越しに4コーナー方向を見ると、かつて懸命にJRA馬相手に戦ったライジンの姿が見えた気がした。

大恵陽子（おおえ ようこ）

競馬リポーター。神戸薬科大学中退。関西を拠点に、小学5年生から地方競馬とJRAの二刀流。グリーンチャンネルやYouTube『ヨルノフケイバ』（高知）などに出演のほか、優駿や週刊競馬ブック、netkeibaなどで地方競馬コラムを執筆。

Pickup!! 注目重賞

第8回石川優駿
6月9日(日) 3歳 金沢2000m

2017年に『石川ダービー』として創設された金沢の3歳ナンバーワン決定戦。第1回はヴィーナスアロー、第2回はアルファティハが制覇し、吉原寛人騎手、金田一昌調教師のコンビで連覇。吉原騎手はその後、20年ハクサンアマゾネス、23年ショウガタツプリで制し、このレースを4勝。2着も19、21年と2回あり、過去7回で6度の連対と抜群の相性。金田調教師も19年ロンギングルック、21年アイバンホーで制しており、通算4勝と活躍。またこれまで牝馬が5勝を挙げており、22年には1着スーパーバントム、2着スターフジサン、3着スタイルユアセルフと牝馬の上位独占もあった。

昨年はショウガタツプリが単勝1.3倍の断然人気に応え、デビューから無傷の10連勝での制覇。その後、西日本ダービー（佐

賀2000m）でも早め先頭から後続を突き放す完勝で、“ダービー”2勝目を飾っている。

騎手の勝利は吉原騎手のほか、中島龍也騎手（2回）、青柳正義騎手の3名。調教師は金田調教師のほか、加藤和義調教師、鈴木正也調教師、高橋俊之調教師の4名だが、今年、『石川優駿』に名称変更され、初めて勝利する騎手・調教師は誰か。それも見どころのひとつになりそうだ。



23年はショウガタツプリがデビュー10連勝を決めた

第14回園田FCスプリント
6月13日(木) 3歳以上 園田820m

第1回は2011年で、毎年48～49秒台で決着がつく超短距離戦。820m戦という特殊な条件ゆえにリピーターの参戦も少なくなく、21、22年にはダノングッド（高知）が連覇を果たした。初挑戦となった20年

は追い込み届かずクビ差2着と惜敗だったが、21年が6馬身、22年が5馬身差と圧倒的な差をつけている。3連覇がかかった昨年は1番人気に支持されたが、後方のまま伸びず10着に敗れた。勝ったのは4連勝中と勢いがあった牝馬メイプルシスター（兵庫）。重賞の舞台でも、デビュー7年目の永井孝典騎手による果敢な逃げが功を奏し、人馬ともに嬉しい重賞初制覇となった。

園田競馬場は1周1051mで、ゴールまでの直線は213m。逃げ・先行馬の好走が多くみられるコースだが、このレースでも主導権を取った馬が6勝と活躍。ただ4コーナー5番手以下から3着以内に追い上げた馬も13年1着エプソムアロン（高知）を筆頭に8頭もいるだけに、一筋縄ではいえないレースといえそうだ。



23年はメイプルシスターが5馬身差で圧勝

ばんえい競馬



場番号 帯広03#

●ライジンサンが3歳の主役候補へ

“ばんえい甲子園”と呼ばれる2歳馬による産地対抗戦の決勝『ヤングチャンピオンシップ (BG2)』が例年通り年末の12月30日に行われた。南北海道産駒特別からフレームファーストとグランドスターダム、北央産駒特別からクリスタルイプセとコトブキテンザン、北見産駒特別からミチシオとディーホワイト、釧路産駒特別からライジンサンとトカチヒロ、そして2歳最初の重賞・ナナカマド賞を制したホクセイボルシェを含むA級の上位馬が揃った激戦の十勝産駒特別からはウルトラコタロウとアヤノダイヤモンドの上位2頭が出走権を得てここへコマを進めた。

絶対的な中心馬不在の中で勝利を収め



12月30日 ヤングチャンピオンシップ ライジンサン

たのはライジンサン。2連勝中の勢いそのままに鋭い末脚で直線突き抜ける強い内容で、自身はもちろん、大河原和雄厩舎にとっても嬉しい初の重賞勝ちとなった。なお同馬は他馬より10キロ重いハンデながら、続く牡馬限定の『翔雲賞 (BG2)』も勝利。執筆時点でBG1・イレネー記念の結果は判明していないが、馬体の充実とともに3歳重賞路線でも活躍を期待したい。

●5歳が古馬路線へ本格編入

古馬戦線では4歳シーズン三冠目の『天馬賞 (BG1)』で重賞8勝目を挙げたキングフェスタを筆頭に、ヘッチャラ、



1月3日 天馬賞 キングフェスタ

ヤマカツエース、ツガルノヒロイモノ、クリスタルコルド、ヤマノコーネルなど、本格的に古馬と対峙する5歳勢のさらなる成長に注目。充実期の8歳を迎えたメモロボブサップ、アオノブラックの二強との重賞での対決が見どころとなりそう。

文●板垣雅己 (ねっとばんばキングタロー)

●ばんえい競馬重賞勝ち馬一覧 2023年12月～2024年2月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
12/3	ばんえいオークス(3歳牝)	200	ルイズ(牝3)	鈴木恵介	ばんえい・楯館重人
12/29	ばんえいダービー(3歳)	200	タカラキングダム(牡3)	金田利貴	ばんえい・村上慎一
12/30	ヤングチャンピオンシップ(2歳選抜)	200	ライジンサン(牡2)	鈴木恵介	ばんえい・大河原和雄
1/2	帯広記念(4歳以上)	200	メジロゴーリキ(牡10)	鈴木恵介	ばんえい・松井浩文
1/3	天馬賞(5歳)	200	キングフェスタ(牡5)	鈴木恵介	ばんえい・小北栄一
1/28	ヒロインズカップ(4歳以上牝)	200	ダイヤカツヒメ(牝5)	赤塚健仁	ばんえい・久田 守
2/4	翔雲賞(3歳牡)	200	ライジンサン(牡3)	鈴木恵介	ばんえい・大河原和雄
2/11	黒ユリ賞(3歳牝)	200	スマイルカナ(牝3)	西 謙一	ばんえい・鈴木邦哉
2/18	チャンピオンカップ(4歳以上選抜)	200	アオノブラック(牡8)	金田利貴	ばんえい・金田 勇

岩手競馬



場番号 盛岡11・水沢12#

●3歳路線など新番組のポイントは

全国レベルでダート競走の体系整備が進み、本年は東京ダービー JpnI を中心とする3歳路線が注目を集めることとなるが、岩手競馬もこれに合わせて路線が整備された。一番の目玉は不来方賞の JpnII 昇格。時期も9月へ移動、ダート三冠目ジャパンダートクラシック JpnI の前哨戦となる。また5月のダイヤモンドカップも東日本交流重賞となり、東京ダービー JpnI の指定競走に。この2レースに、6月の東北優駿(岩手所属馬限定)を加えた3競走が、今年の3歳根幹競走となる。昨年までとはレースの雰囲気が大きく変わることが予想されるだけ



12月31日 桐花賞 ノーブルサターン

に、一年の中でもまさに必見のレースとなることは間違いない。

古馬路線ではずらん賞が7年ぶりに準重賞から重賞へ復活。距離も1800メートルに戻り、北上川大賞典のトライアル競走となる。

●今年も期待のフジユージーン

大きく変わる3歳路線において、その動向が注目されるのは、昨年の岩手2歳最優秀馬フジユージーン。デビュー前より地元の期待馬であったが、圧勝続きで5戦5勝。特に北海道や南関東の重賞勝ち馬が遠征してきた南部駒賞を圧勝したことで、全国レベルでの戦いが期待されるようになった。当初は大井の京浜盃 JpnII への出走プランもあったが、これは自重。2月15日に水沢の厩舎へ戻り、乗り込みを再開している。この冬の水沢



11月の南部駒賞まで5戦5勝のフジユージーン

は競馬が開催できるのではないかとはいくほど雪が少なく、馬場状態の不安は全くない。瀬戸幸一調教師も「順調であれば、4月7日のスプリングカップ、そこから5月5日のダイヤモンドカップ」と。期待が先行しすぎる面は否定しないが、そのくらいのスケールを感じさせる馬である。

文●深田桂一 (ケイシュウNEWS)

●岩手競馬重賞勝ち馬一覧 2023年12月～2024年2月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
12/3	トウケイニセイ記念(3歳以上)	水沢1600	ノーブルサターン(牡9)	高松 亮	岩手・板垣吉則
12/10	寒菊賞(2歳)	水沢1600	レッドオパール(牝2)	山本聡哉	岩手・菅原 勲
12/30	金杯(2歳)	水沢1600	リトルカリッジ(牝2)	菅原辰徳	岩手・菅原右吉
12/31	桐花賞(3歳以上)	水沢2000	ノーブルサターン(牡9)	高松 亮	岩手・板垣吉則

金沢競馬

場番号 41#

●地震乗り越え競馬再開へ

元日に発生した最大で震度7を観測した令和6年能登半島地震は輪島市や珠洲市など石川県内の能登地区6市町を中心に甚大な被害を与えた。震度5弱を観測した金沢市北部にある金沢競馬場でも少なからず被害はあった。

最大で1万5千人を収容できる観戦スタンドは築50年と年数こそ経っているが、6年前に約2年をかけて耐震補強工事を施していたため、3階席を覆っているガラス面が破損するなどの大きな被害はなく無事だった。しかしスタンドが建っている地面周辺が最大で30センチほ



12月3日 中日杯 ハクサンアマゾネス

ど地盤沈下した。外からスタンド2階に上がる階段に大きな段差ができて、車いす用のスロープに亀裂が入るなどの被害が出た。そのため2月中旬まで予定されていたスタンド内での場外馬券発売はできず、段差や亀裂をアスファルトなどで修復する突貫工事に追われた。

厩舎ブロックに大きな被害はなく、自厩舎で冬場休養していた競走馬が無事だったのも幸いだった。ただパドックから本馬場に出る際に管理練の下を通るが、その通路に隆起した箇所が見付かったため、馬がつまづかないように削って再舗装した。また走路コースも一度砂を取り除いて地盤に破損や亀裂、空洞部分がないかを重機を走らせて、3月中旬の競馬再開に向けて入念なチェックが行われた。

石川県の県庁職員には馳浩知事から全庁あげて災害対応にあたるよう指示が



12月27日 移転50周年記念金沢ファンセレクトカップ ハクサンアマゾネス

出ており、金沢競馬を主催する石川県競馬事業局からも毎週3人の職員が交代で被災地支援のために出向いている。冬季休業期間中で競馬を開催していないので人手は足りているが、能登の復興にはまだまだ時間がかかりそう。競馬が再開されても派遣が続くなら、職員の疲弊が心配される。

文●中部地方競馬記者クラブ

●金沢競馬重賞勝ち馬一覧 2023年12月～2024年2月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
12/3	中日杯(3歳以上)	2000	ハクサンアマゾネス(牝6)	堀場裕充	金沢・加藤和義
12/27	移転50周年記念金沢ファンセレクトカップ(3歳以上)	1500	ハクサンアマゾネス(牝6)	吉原寛人	金沢・加藤和義

笠松競馬



場番号 42#

●地元で凱歌ストームドッグ

ネクストスターを勝った笠松2歳王者ワラシベチョウジャが12月の準重賞・ジュニアキング(5着)以降、ミニ充電のために冬シーズンを休養。それもあって若駒戦線は宿敵・名古屋勢の後塵を拝した笠松勢。しかし大みそかの名物重賞・東海ゴールドカップで、地元ファンが待ち望んだ瞬間が、ついに訪れた。ストームドッグだ！ オープン特別で勝ち負けしても重賞では善戦止まりに終わっていた地力派が、向山牧騎手との初タッグで仕事を成し遂げた。

守備範囲を超える1900メートルながら、好スタートを決めて主導権を奪う積



2月8日 ゴールドジュニア ミトノウオリアー

極戦で臨んだ。勝負所の2周目3コーナー手前では先頭を奪われたが差し返し、ゴールまで続いた激しい追い比べを制す価値ある勝利で重賞覇者へ仲間入りした。同じ森山英雄厩舎のナリタブレードとの地元ワン・ツーに競馬場は大いに盛り上がった。くしくも向山騎手が大きめで仕留めた、2022年6月クイーンカップのドミニク以来遠ざかっていた笠松勢による重賞優勝(地元限定戦を除く)だった。「(接戦で)勝ったかどうか、分からなかった。よけいにうれしいよ。掛かるタイプなので折り合いに気をつけました」。ベテラン健在をファン、関係者にアピールする好プレーだった。

●素質馬スタンレーが復帰

また、昨年3月の中京ペガスターカッ



12月31日 東海ゴールドカップ ストームドッグ

プ優勝以来、休養中だったスタンレーが、1月のB・C級混合戦で戦列復帰した。2月のB級2組特別では4着に終わったが、名古屋の無敗馬セブンカラーズ(2月末現在)と好勝負した経験がある高い能力の持ち主。今後の動向を温かく見守りたい1頭だ。

文●中部地方競馬記者クラブ

●笠松競馬重賞勝ち馬一覧 2023年12月～2024年2月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
12/30	ライデンリーダー記念(2歳)	1400	ミトユニヴァース(牡2)	岡部 誠	名古屋・角田輝也
12/31	東海ゴールドカップ(3歳以上)	1900	ストームドッグ(セン6)	向山 牧	笠松・森山英雄
1/25	ウインター争覇(4歳以上)	1800	セイルオンセイラー(セン5)	友森翔太郎	名古屋・塚田隆男
2/8	ゴールドジュニア(3歳)	1600	ミトノウオリアー(牡3)	岡部 誠	名古屋・角田輝也
2/22	白銀争覇(4歳以上)	1400	バーニングベスカ(牡9)	鴨宮祥行	兵庫・橋本忠明

名古屋競馬

場番号 43#

●冬競馬を振り返る

2023～24年冬シーズンもスター復活に新星誕生などトピック満載だった。新春の名古屋記念ではブンブンマルが22年5月の湾岸スターカップ以来となる重賞5勝目を達成。初コンビの新人・大畑慧悟騎手にとって、重賞騎乗4戦目でのうれしい初タイトル獲得だった。「慧悟の好プレーやね。急な乗り替わりも指示通り一生懸命乗ってくれた」。管理する川西毅調教師は人馬ともに健闘した走りに目を細めるばかりだった。

2月の梅見月杯ではメルトが直線一気劇。23年の名古屋記念以来、重賞で善戦止まりが続いたウッポンを自慢のキレ



2月1日 梅見月杯 メルト

で晴らした。「外枠や展開も向きましたが、馬具や追い切り間隔などあらゆることを変えて臨みました。まだまだよくなる馬です」と角田輝也調教師。名門厩舎の総合力、チーム力がもの言った復活劇だった。

名古屋3歳重賞第2弾のスプリングカップはスティールアクターが早めに先頭に立って力強く押し切り、重賞初制覇に成功した。「レースがまず上手。それでしまいまでしっかり脚が使える。走る馬です」と加藤聡一騎手はエールを送った。混戦模様の3歳タイトル戦線にまた1頭、スターが誕生した。

さらに忘れてならないのが当地最高峰のJpnⅡ・名古屋グランプリ。名古屋のダートグレードとして初めてナイターで



2月15日 スプリングカップ スティールアクター

実施された記念すべき一戦で、第一人者・岡部誠騎手がファンを魅了。中央馬ディクテオンに騎乗し、中団から豪快なまくりをさく裂させた。レース最多の4勝目をコースレコードタイムを叩き出すおまけつきで成し遂げた。さらに重賞メジロ押しになる24年春シーズン。多くのトピックが待ち受けていることだろう。

文●中部地方競馬記者クラブ

●名古屋競馬重賞勝ち馬一覧 2023年12月～2024年2月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
12/21	名古屋グランプリJpnⅡ(3歳以上)	2100	ディクテオン(セン5)	岡部 誠	JRA・吉岡辰弥
1/4	名古屋記念(4歳以上)	1500	ブンブンマル(牡6)	大畑慧悟	名古屋・川西 毅
1/16	新春ベガサスカップ(3歳)	1700	ミトノユニヴァース(牡3)	岡部 誠	名古屋・角田輝也
2/1	梅見月杯(4歳以上)	1500	メルト(牡5)	丸野勝虎	名古屋・角田輝也
2/15	スプリングカップ(3歳)	1700	スティールアクター(牡3)	加藤聡一	名古屋・角田輝也
2/29	かきつばた記念JpnⅢ(4歳以上)	1500	サンライズホーク(セン5)	M.デムーロ	JRA・牧浦充徳

兵庫競馬



場番号 園田51・姫路52#

●23年の活躍馬たちが躍動

園田金盃は吉村智洋騎手が「天才的なアイドル様」と評する3歳牝馬スマイルミーシャがツムタイザンとの競り合いを制した。2023年の兵庫最優秀3歳馬、同牝馬に選ばれると、年明けにはコウノトリ賞も制しており、兵庫女王盃JpnⅢへ最高の形で臨めそうだ。一方、園田金盃連覇を狙ったラッキーDreamは調子が上がらず3着に敗れたが、兵庫大賞典など重賞3勝の実績が評価されて2年連続で最優秀4歳以上中長距離馬に選ばれた。その後は回復して白鷺賞で完全復活。今後は地元戦でタイトルの上積みを狙っていく。

最優秀2歳馬は重賞3勝のマミエミモ



12月7日 園田金盃 スマイルミーシャ(奥)

モタローが輝いたが、大晦日の園田ジュニアカップは発走再検査により出走不可。5番人気のマルカイグアスが混戦を制した。だが明け3歳となった兵庫クイーンセレクション、兵庫ユースカップはいずれも他地区の馬に地元馬は完敗しており、様相が混沌としてきた。そのなかで楽しみなのがモンゲーギフトだ。スマイルミーシャと同じ飯田良弘厩舎の牝馬で、12月29日の初出走から兵庫オーナーズセレクト賞まで3連勝、合計着差は25馬身。既存勢力に新風を吹かせそうだ。

●さらなる高み目指すイグナイター

そして今回もイグナイターの話は欠かせない。2年連続でNARグランプリ



NARグランプリ2023表彰式でのイグナイター関係者

年度代表馬に選ばれる偉業を果たした。24年初戦はフェブラリーステークスGIに出走して11着だったが、兵庫代表として威風堂々と駆け抜けた。今年の前半はドバイ挑戦、さらにJpnIに昇格したさきたま杯の連覇など、さらなる野望を抱いている。

文●松本健史 (大阪日刊スポーツ)

●兵庫競馬重賞勝ち馬一覧 2023年12月～2024年2月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
12/7	園田金盃(3歳以上)	園田1870	スマイルミーシャ(牝3)	吉村智洋	兵庫・飯田良弘
12/20	兵庫ゴールドロフィーJpnⅢ(3歳以上)	園田1400	サンライズホーク(セン4)	M.デムーロ	JRA・牧浦充徳
12/31	園田ジュニアカップ(2歳)	園田1700	マルカイグアス(牡2)	鴨宮祥行	兵庫・橋本忠明
1/3	新春賞(4歳以上)	園田1870	アラジンパローズ(セン7)	下原 理	兵庫・新子雅司
1/11	コウノトリ賞(4歳以上牝)	園田1870	スマイルミーシャ(牝4)	吉村智洋	兵庫・飯田良弘
1/25	兵庫クイーンセレクション(3歳牝)	姫路1400	ニジイロハービー(牝3)	渡邊竜也	名古屋・今津勝之
2/8	兵庫ウインターカップ(4歳以上)	姫路1400	タイガーインディ(牡7)	廣瀬 航	兵庫・保利良平
2/15	白鷺賞(4歳以上)	姫路2000	ラッキーDream(牡6)	下原 理	兵庫・新子雅司
2/22	兵庫ユースカップ(3歳)	姫路1400	リケアサブル(牡3)	吉原寛人	高知・田中 守

高知競馬

場番号 55#

写真●高知県競馬組合

●熱戦が続いた黒船賞選考競走

今年の黒船賞選考競走は大高坂賞をグッドヒューマー、黒潮スプリンターズカップをヘルシャフトと打越勇児厩舎勢が連勝。2月11日に行われた『第11回だるまた日賞』(1600メートル)ではロードプレスに選考競走コンプリートの偉業達成が託されたが、同馬をハナ差の接戦で封じたのがモダスオペランディだった。休み明け2戦目だった前走の黒潮スプリンターズカップでは前述したヘルシャフトに完敗の2着だったが、休み明け3戦目と距離延長に赤岡修次騎手の執念の好リードがバッチリと噛み合い、昨年3月の御厨人窟賞以降、3度目の重賞勝ち。意外にも高知では初めてのマイルでの勝



2月11日 だるまた日賞 モダスオペランディ

利となった。ユメノホノオを筆頭に大物が数多く在籍する田中守厩舎から、今後がまた楽しみになる馬の復活を印象づけただるまた日賞だった。

●初代女王の誕生

2月25日に行われたグランダム・ジャパン古馬シーズン春『第1回レジーナディンヴェルノ賞』(4歳以上牝馬・1900メートル)は高知けいばでは24年ぶりとなる牝馬限定の重賞。地方他地区5頭を加えた計11頭が初代女王の座を争い、地元ミニョンが3馬身差の完勝で初タイトルを手にした。広く知られた話だが同馬は昨年6月にはC3級のファイナルレースで惨敗を喫していた馬。そこからあれよあれよと出世街道に乗り、今や押し



2月25日 レジーナディンヴェルノ賞 ミニョン

も押されもせぬ牝馬の一線級として活躍しているのだから競走馬は奥が深い。表彰式で涙を見せたのは長くコンビを組む山崎雅由騎手。22年の大高坂賞以来、4度目の重賞制覇となった。今回、大きな勲章を手にした人馬が今後、どこまで駆け上がって行くのか興味深い。

文●風間恒一(中島競馬場)

●高知競馬重賞勝ち馬一覧 2023年12月～2024年2月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
12/28	金の鞍賞(2歳)	1400	プリフロールイン(牡2)	宮川 実	高知・打越勇児
12/31	高知県知事賞(3歳以上)	2400	ユメノホノオ(牡3)	吉原寛人	高知・田中 守
1/14	大高坂賞(4歳以上)	1400	グッドヒューマー(セン10)	宮川 実	高知・打越勇児
1/28	黒潮スプリンターズカップ(4歳以上)	1300	ヘルシャフト(牡7)	吉原寛人	高知・打越勇児
2/11	だるまた日賞(4歳以上)	1600	モダスオペランディ(牡8)	赤岡修次	高知・田中 守
2/25	レジーナディンヴェルノ賞(4歳以上牝)	1900	ミニョン(牝5)	山崎雅由	高知・田中譲二

佐賀競馬



場番号 61#

写真●佐賀県競馬組合

●飛田騎手が初のリーディング

2023年は、129勝を挙げた飛田愛斗騎手が初の佐賀リーディングを獲得。また、デビュー2年目の山田義貴騎手が、九州クラウンでの重賞初制覇を含む118勝(佐賀では117勝)を挙げ『NARグランプリ2023・最優秀新人騎手賞』に選定された。他にも出水拓人騎手(花吹雪賞)、金山昇馬騎手(佐賀がばいダッシュ)がそれぞれ重賞初制覇と、若手の活躍が目立つ1年だった。

一方、08年から15年連続で佐賀リーディングに君臨していた山口勲騎手は、23年は飛田騎手と5勝差の2位に留まったが、怪我で7月から約2カ月間の戦



1月6日 佐賀若駒賞 トゥールリー

線離脱が響いたもの。12月から年明け2月に重賞3勝の固め打ちと、復帰後も圧倒的な存在感を見せている。

●三冠で注目の対決か

ネクストスター佐賀、カペラ賞と2歳重賞を連勝したウルトラノホシはその後、南関東のダートグレードに3戦連続で出走。船橋・ブルーバードカップJpnⅢでは勝ち馬からコンマ2秒差の4着と健闘した。また、九州ジュニアチャンピオンを勝ったトゥールリーは、1月の佐賀若駒賞、2月の飛燕賞と佐賀3歳重賞を連勝した。ともに春は地元の三冠路線の予定で、10月のカペラ賞以来となる対戦が待ち望まれるところだ。

●佐賀競馬重賞勝ち馬一覧 2023年12月～2024年2月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
12/3	フォーマルハウト賞(2歳牝)	1400	ファーマティアーズ(牝2)	和田譲治	大井・須田和伸
12/24	中島記念(3歳以上)	1800	ヒストリーメイカー(牡9)	山口 勲	佐賀・手島勝利
1/6	佐賀若駒賞(3歳)	1750	トゥールリー(牡3)	山口 勲	佐賀・北村欣也
1/8	ゴールドスプリント(4歳以上)	1300	リーチ(牡6)	石川 倭	佐賀・真島正徳
1/21	花吹雪賞(3歳牝)	1800	グランドアウト(牝3)	赤岡修次	高知・田中 守
2/4	飛燕賞(3歳)	1400	トゥールリー(牡3)	山口 勲	佐賀・北村欣也
2/12	佐賀記念JpnⅢ(4歳以上)	2000	ノットゥルノ(牡5)	武 豊	JRA・音無秀孝
2/22	たんぼぼ賞(3歳九州産)	1400	コウユウカメサンヨ(牡3)	石川 倭	JRA・齋藤崇史



2月12日 佐賀記念JpnⅢ ノットゥルノ

佐賀記念JpnⅢは、JpnI勝ちのあるノットゥルノ(JRA)が2着を4馬身突き放して、同舞台で行われるJBCクラシックJpnIに向け大きな期待のかかる勝利。なお、佐賀最先着はタガノファジョーの6着だった。

文●上妻輝行

競馬場別 騎手リーディング *Top3*

(2023年1月1日～12月31日)

ばんえい競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	鈴木恵介	1,101	200	129	105	18.2	29.9	118,796,500
2	西 将太	1,112	134	124	107	12.1	23.2	72,665,500
3	島津 新	1,053	134	99	73	12.7	22.1	76,070,500

岩手競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	村上 忍	916	170	164	126	18.6	36.5	197,877,000
2	高松 亮	908	139	111	101	15.3	27.5	158,147,000
3	山本聡哉	515	136	81	68	26.4	42.1	145,913,000

金沢競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	栗原大河	745	122	97	103	16.4	29.4	120,625,000
2	青柳正義	647	120	111	92	18.5	35.7	109,229,000
3	中島龍也	545	89	107	67	16.3	36.0	88,390,000

東海地区(笠松競馬・名古屋競馬)

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	岡部 誠	1,224	267	202	169	21.8	38.3	315,240,000
2	渡邊竜也	710	191	124	82	26.9	44.4	163,042,000
3	丸野勝虎	1,071	175	129	136	16.3	28.4	189,616,000

笠松競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	渡邊竜也	589	183	109	67	31.1	49.6	136,757,000
2	藤原幹生	719	87	83	66	12.1	23.6	78,526,000
3	岡部 誠	372	77	70	53	20.7	39.5	93,084,000

名古屋競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	岡部 誠	852	190	132	116	22.3	37.8	222,156,000
2	加藤聡一	890	132	104	98	14.8	26.5	127,281,000
3	丸野勝虎	803	126	93	99	15.7	27.3	140,785,000

兵庫競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	吉村智洋	1,220	332	260	162	27.2	48.5	576,315,000
2	下原 理	1,089	188	150	137	17.3	31.0	404,944,500
3	田中 学	785	155	107	89	19.7	33.4	314,894,000

高知競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	赤岡修次	428	170	59	44	39.7	53.5	239,967,500
2	宮川 実	466	119	86	69	25.5	44.0	219,555,000
3	永森大智	584	95	73	87	16.3	28.8	163,035,000

佐賀競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	飛田愛斗	825	129	115	107	15.6	29.6	142,868,000
2	山口 勲	527	124	88	58	23.5	40.2	140,435,500
3	山田義貴	731	117	78	75	16.0	26.7	105,381,500

競馬場別 調教師リーディング *Top3*

(2023年1月1日～12月31日)

ばんえい競馬

順位	氏名	出走回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	金田 勇	974	122	128	128	12.5	25.7	109,130,500
2	松井浩文	936	107	98	105	11.4	21.9	85,597,000
3	服部義幸	830	100	68	56	12.0	20.2	43,902,000

岩手競馬

順位	氏名	出走回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	菅原 勲	584	96	73	64	16.4	28.9	110,314,000
2	板垣吉則	527	92	71	72	17.5	30.9	134,219,000
3	櫻田康二	621	80	60	73	12.9	22.5	71,590,000

金沢競馬

順位	氏名	出走回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	加藤和宏	673	135	90	70	20.1	33.4	100,874,000
2	井樋一也	708	119	92	77	16.8	29.8	85,614,000
3	佐藤 茂	585	111	107	93	19.0	37.3	137,473,000

東海地区(笠松競馬・名古屋競馬)

順位	氏名	出走回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	角田輝也	844	182	127	99	21.6	36.6	202,801,000
2	笹野博司	819	173	131	114	21.1	37.1	148,670,500
3	今津博之	723	135	97	79	18.7	32.1	151,481,000

笠松競馬

順位	氏名	出走回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	笹野博司	805	173	128	113	21.5	37.4	142,204,500
2	後藤佑耶	749	123	99	78	16.4	29.6	88,575,000
3	加藤幸保	810	92	80	101	11.4	21.2	75,124,500

名古屋競馬

順位	氏名	出走回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	角田輝也	788	165	111	94	20.9	35.0	176,373,000
2	今津博之	645	107	78	67	16.6	28.7	114,697,000
3	川西 毅	308	92	50	41	29.9	46.1	104,045,000

兵庫競馬

順位	氏名	出走回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	飯田良弘	427	99	71	52	23.2	39.8	226,879,000
2	柏原誠路	288	90	55	32	31.3	50.3	144,723,000
3	森澤友貴	369	78	44	39	21.1	33.1	107,675,000

高知競馬

順位	氏名	出走回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	田中 守	657	204	91	85	31.1	44.9	416,167,500
2	打越勇児	718	189	145	92	26.3	46.5	346,750,000
3	雑賀正光	866	97	107	94	11.2	23.6	193,897,500

佐賀競馬

順位	氏名	出走回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	山田 徹	671	110	72	69	16.4	27.1	98,175,500
2	手島勝利	686	98	85	73	14.3	26.7	124,157,000
3	真島元徳	569	85	70	64	14.9	27.2	128,443,000

ジョッキーインタビュー

取材・文●浅野靖典

鴨宮祥行騎手は2023年の大晦日に行われた園田ジュニアカップをマルカイグアスで勝利。2012年4月のデビューから徐々に成績を上昇させ、23年は兵庫リーディング5位に食い込んだ。

(マルカイグアスを管理する)橋本忠明先生には以前からお世話になっていて、田中学さんが乗れないときは自分ということも多かったのですが、今回は偶然の要素が多かったと思います。園田ジュニアカップに出ていたウェラーマン(1番人気で6着)でアッパートライ競走を勝ちましたし、2着だったミスターダーリンもその前走で乗っていました。でも、その2頭は“代打”という形。僕の乗り馬はいない状況だったところ、声をかけていただきました。

レースは中団からの差し切り勝ち。最後の直線では激しい攻防があった。

当日の朝、クラウドノイズ(2番人気・山本屋太三騎手)が逃げ切るのではという話が聞こえてきたのですが、そこで「いやいや、1年目の騎手に勝たせるようなことをしないのが園田でしょう」という声もありました。その結果はやはり、逃げ馬には厳しい流れになりましたね。ミスターダーリンが勝ちに行く競馬をしていた後ろで、僕は最後の直線で必死に追っただけでした。だからミスターダーリンがぶつかってきたのも覚えていないんですよ。体にゆるいところが残っているので、早めに出すとフットワークがバラバラになるかもという感じがあったので、そこに意識を集中させていたんでしょう。いま振り返っても、周りがまったく気になっていなかったと思います。

マルカイグアスは年明け初戦に名古屋のスプリングカップを選択。2着と好走した。

その少し前に兵庫クイーンセレクションで名古屋の馬に勝たれましたからね。それでこちらから名古屋に行って大負けしたら「兵庫ってレベル的にどうなの?」となってしまうので、2着でも(新春ペガサスカップで1、2着だった)名古屋の強い2頭に先着できたのは良かったと思います。

名古屋競馬場には前半戦のうちに着いて、控室でレースを見て、夜になってきて



写真●兵庫県競馬組合

マルカイグアスで制した23年園田ジュニアカップ

前が残りに始めてきたという話も頭に入れて臨みました。スタートに不安があるタイプですが、園田のときよりも良かったですね。そのおかげでいい位置を取りに行けて、最後までしっかりと伸びてくれました。

初コンビでの重賞勝利といえば、22年の兵庫ウインターカップを10番人気で制したインペリシャブル(川崎)での騎乗が印象に残る。

インペリシャブルの馬主さんは西脇トレンセンでも馬を預けていて、その関係から僕を指名してくださいました。苦戦続きという成績でしたが、パドックで乗ったらとてもいい背中。「これで成績がイマイチなんだ」と不思議に思いつながら返し馬をしていました。ゲート裏で田中学さんに「どうなの?」と聞かれて「メッチャ良いですよ」と答えたことも覚えています。その年のレースは逃げ先行型が多かったのでその後ろにつけて、外差しがきく馬場状態のおかげもあって差し切れましたが、それでも馬自身の実力のおかげだと思います。

さらに笠松でも20年のゴールドジュニアを10番人気のガミラスジャクソンで制した。

デビュー戦から騎手がバラバラでしたが、僕がテン乗りで勝ったことをきっかけにして主戦騎手にしてくださいました。笠松では前崩れの流れが向いた感じでしたね。僕はわりと背が高い(174cm)分アクションも大きくなるので、馬がしっかりと伸びてくれているときはきれいに追っているように見えるように思います。でも逆になることもあるんですよ。自分としては迫力がある追いかたよりは、道中で流れに乗って伸ばしていくというほうが合っているかな。そういう点での手本も田中学さんです。

兵庫は上位陣のカベが厚いが、21年は65勝、22年は80勝、そして昨年は96勝と上昇カーブを描いている。

これまでずっと、年間100勝を意識していて、でも届かなくて、という繰り返し。でも昨年はそれが現実的といえるところまでできたと思います。勝ち星が増えてきたのは何かを変えたからというわけではなくて、これまで長くやってきたことを認めてくださる人が少しずつ増えてきたからだと考えています。と言っても、吉村智洋さんや下原理さんに比べるとまだまだ。先日、3カ月ごとの表彰があったのですが、僕はその期間が約30勝(敢闘賞)で、横に並んだ吉村さん(最優秀騎手賞)は3倍……。

それでも今年も年明けから上々の成績を挙げている。

個人的なトレーニングは続けていて、積み重ねてきた効果が少しずつ結果に出てき

鴨宮 祥行(兵庫)

かもみや よしき



1993年11月2日生まれ さそり座 A型
大阪府出身 栗林徹治厩舎
初騎乗/2012年4月17日
地方通算成績/8,596戦636勝
服色/胴青・赤縦縞、袖白・赤一本輪
重賞勝ち鞍/園田ジュニアカップ、兵庫ウインターカップ、イヌワシ賞、園田チャレンジカップ、白銀争覇(2回)など7勝
※2024年2月23日現在

ているように感じます。今は週に1回、トレーナーさんに体をみていただいています。体重についても意識していますが、増減の幅が以前より小さくなったことは以前とは違う点ですね。

さらに上位を目指していくために、どんなことを考えているのだろうか。

引き続き、下半身を中心に強化していきたいですね。兵庫の馬は力で動かさないといけないタイプもいますから。吉原寛人さんのようにきれいに乗って、それでも馬が動いていくのは見習いたいところですね。この身長をコンパクトにたたんでうまく使えたら、というのは自分自身の大きなテーマ。背が高いからこそいろいろと研究して、考えて乗ってきたという面もあります。ちなみに教養センターの同期には北海道の阿部龍と大井の江里口裕輝がいますが、2人とも身長が僕と同じくらいです(笑)。

鴨宮騎手は地方競馬が経営的に厳しかったころのデビューだった。

確かに賞金や手当は今よりもかなり少なかったですね。そして上位の騎手に勝ち星が集中していましたし。でもそれでどうこう思ったことは1回もなくて、ただひたすらうまくいきたい、そして勝ちたい、という気持ちだけでした。逆にその頃を知っているだけに、お盆や年末年始にスタンドが盛り上がっている様子を見て信じられないという思いもあります。地方競馬は一般的にはあまり知られていなかったように思いますが、最近はいろいろな発信手段があるので以前より「見られている」という感覚を持っていますね。ほぼ同世代の杉浦健太騎手と競い合っているのは大きいですし、よく遊びに行っていた廣瀬航騎手が一気に勝ち星を増やしたことも刺激になります。僕もひとつひとつをしっかりと乗って、上の位置をたぐり寄せたいと思っています。

兵庫の面白い話

宮垣優さん(競馬ブック)

取材・文●浅野靖典



兵庫の競馬は厩舎が園田と西脇に分かれているのが特徴のひとつ。その両方で取材経験がある競馬ブックのトラックマン、宮垣優さんに話を伺った。

怪物・オオエライジン

私が記者になったのは2007年。競馬ファンとして園田競馬場に行って、当時の競馬キンキの片隅に社員募集と書かれていたのを見て応募しました。でもそのときは面接で落ちたんですよ。するとしばらくして、合格した人がすぐに退職してしまったと連絡があって、また面接していただきました。それが菊水賞の日で、次の日曜日から勤務。面接のときは厩舎取材の担当と言われていましたが、競馬場に行ってみたら調教担当になっていました(笑)。

その15年くらいの間で心に残っている馬といえば、オオエライジンが断然ですね。調教師になる前だった橋本忠明さんがデビュー前から“怪物”と言っていました。そのとおり、能力検査を受ける前から走る雰囲気を持っていましたね。あの年は菊水賞を勝って兵庫チャンピオンシップで2着に入ったホクセツサンデーが1番人気。オオエライジンは無敗でダービーを勝ちましたが、3カ月の休み明けで2番人気。レベルが高くて濃い世代だったと思います。そのあとの佐賀記念は私も現地に遠征して、間近で見させてもらいました。

ただ、その頃は兵庫に限らず競馬業界が厳しい時代。それでも競馬場には平均して2千人くらいは来ていたと思います。でも馬券の売り上げも賞金も減って、正直なところ、これからどうなるのかという不安感がありました。

そこからの起死回生、というわけではないのかもしれませんが、12年9月に始まったナイトー開催は起爆剤のひとつになりました。その初日、お客さんの層がこれまでとは明らかに違っていたので、これは面白



写真●兵庫県競馬組合

兵庫ダービーは休み明けで2番人気

くなるかもと思ったことを覚えています。

個人的には生活のリズムが狂うかなと心配していたんですが、もう慣れましたね。その当時は園田担当でナイトー開催が終わって仮眠して、そのまま調教を見たこともありました。

山を削って作られた西脇トレセン

そのあと21年1月からは西脇担当。ファンのみなさんはおそらく西脇のことをよく知らないですよ。山を削って作られた調教専用施設で、1周1000mと800mの周回コースと、その内側に坂路があります。でも坂路は直線が短くて傾斜もそれほどないので、たまに使われる程度。馬場の外側に山に登る道があるので、そこを坂路にすればすごい施設になると思うんですが。

厩舎は北側が園田と同じ形で、南側はちょっと古めかしい感じがする建物。静かで環境がいいですし、厩舎と馬場に高低差があるので、往復するだけでもいい運動になります。そして園田よりも調教時間が長いことが大きなメリット。園田は8時半までですが、西脇は10時半まで馬場を使えるんですよ。その分、1頭にかかる時間が長いと感じます。だからなのか、新しい厩舎はまず西脇で開業して、園田の厩舎に空きが出たら移動できる形でしたが、最近では園田に空きが出て西脇から離れない調教師が増えました。ただ、悩ましいのが人手不足。外国人の厩務員さんが増えていますが、西脇はその点が慢性化している感じです。

私たちにとっての違いは、園田はスタンドの記者席から調教を見ますが、西脇は調教スタンドから。園田よりも調教師や厩務員、騎手たちとの距離が近いです。

そこで感じられるのが、しっかりと乗り込んでいる厩舎が好成绩を挙げているということ。マイペースで仕事をしているスタッフの担当馬が活躍するケースも多いようにも感じます。

ブレイク候補がたくさんいる兵庫の騎手

兵庫は勝ち星が一部の騎手に集中する傾向が強くて、そこに食い込むのがなかなか難しいのですが、ブレイクするであろう候補はたくさんいますよ。最近になって上位に食い込んできた廣瀬航騎手は重賞を勝つまで20年もかかりましたが、普段の調教では最初から最後まで乗っていて、そういう

ところが花開くことにつながった感じがします。これから伸びそうなのは永井孝典騎手。徐々に結果を残し始めていると思います。

素質で言えば田野豊三騎手。技術はトップクラスだと思います。もっとどん欲さがあれば勝ち星が増えるはず。あと、長尾翼玖騎手は期間限定騎乗(23年9月から12月)の高知から帰ってきたら顔つきが変わっていたので驚きましたね。同期の2人(大山龍太郎騎手、佐々木世麗騎手)に比べると後れを取っている形ですが、修業が良い形に出ているのではないのでしょうか。

ただ、順調にいけば24年は新人騎手が4人もデビューするんです。そのぶん若手騎手の競争は厳しくなりますが、レースは面白くなると思います。

兵庫はクラス分けが「ポイント制」で、2カ月に1回、奇数の月に格付けの修正を実施するのが大きな特徴。また、このときに同一クラスでの最近3戦の着順の合計が多い順に1クラス下がるというシステムもあります。だから勝てるチャンスが巡ってくる人が多いと思いますし、ポイント修正の時期が近くなると馬券的に荒れやすくなる面も出てきます。

園田1400mは内に行ける先行馬有利

ところで園田競馬場は「1870mの大外枠はスタートで滑る」と思っている人が多いようですが、現在の砂になってからはそうでもないんですよ。確かに以前はそんな感じでしたが、今はむしろ外枠のほうがダッシュを効かせやすくなっていると思います。これは個人的な推測ですが、武豊騎手がテレビでそう言ったことの影響が大きいのではないかと(笑)。その点で注意するなら1230mの外枠。スタートでつまづくケースが多い印象があります。

数年前の園田はインコースの砂が厚くて予想が難しかったですが、今は1400mでは先行してインコースを回って脚を溜める形を取れる馬が有利。堅めの決着になることも増えました。でもキッチリと準備してからオッズパークLIVEの「その金ナイトー編」に臨むと当たらないんですよ……。今年も機会をいただけるのなら、出演者のかたに園田を楽しんでもらえるように、そして見ているみなさんに園田を知ってただけのことを念頭に置いて、自分の気持はほどほどにして頑張りたいと思います。

専門紙は新型コロナの無観客開催の影響もあって『キンキ』から『競馬ブック』に変わりました。仕事の内容はほとんど変わっていませんが、ブックになって調教欄に「調教からの注目馬」という項目ができたのが西脇の調教班である私にとっての大きな変更点。そこを皆さんに注目していただけたら幸いです。

4月→6月

注目レース

兵庫競馬

データ分析

ダート路線の体系整備に伴い園田・姫路競馬では、4歳以上牝馬による兵庫女王盃 JpnⅢが新設され、3歳の兵庫チャンピオン

実施日	レース名(条件)	距離	23年の勝ち馬(所属)
4/3(水)	菊水賞(3歳)	園田1700m	ベラジオソノドラブ(兵庫)
4/4(木)	兵庫女王盃 JpnⅢ(4歳以上牝)	園田1870m	新設
4/29(祝・月)	兵庫チャンピオンシップ JpnⅡ(3歳)	園田1400m	ミトノオー(JRA)
5/1(水)	西日本クラシック(3歳)	園田1870m	新設
5/2(木)	兵庫大賞典(4歳以上)	園田1400m	ラッキードリーム(兵庫)
5/9(木)	のじぎく賞(3歳牝)	園田1700m	スマイルミーシャ(兵庫)
6/6(木)	六甲盃(4歳以上)	園田1870m	グリードパルフェ(高知)
6/13(木)	園田FCスプリント(3歳以上)	園田820m	メイプルシスター(兵庫)

シップ JpnⅡが1870mから1400mへ距離短縮された。そのほか、4～6月の重賞は、3歳では、ゴールデンウイークに西日本クラシックが新設。なおこれまで6月に行われていた兵庫ダービーは、兵庫優駿と名前を

変え7月に時期変更となる。4歳以上では、兵庫大賞典が1400mへ、六甲盃が1870mへそれぞれ距離変更となった。ここでは、兵庫女王盃 JpnⅢ、兵庫チャンピオンシップ JpnⅡの見どころを取り上げる。

4/4 兵庫女王盃 JpnⅢ

●西日本で初の牝馬DG

北海道と南関東以外では初となる牝馬による常設ダートグレード。2024年からの実施に先立ち、園田・姫路競馬では、兵庫クイーンカップ(23年10月27日)の距離を1700mから1870mに延長。年明けに地

兵庫女王盃 JpnⅢへの道



グランダム・ジャパン 古馬春シーズン

元馬のステップとして同舞台のコウノトリ賞が設けられた。

23年まで同時期に船橋でマリーンカップ JpnⅢが行われており、過去10年でJRA8勝、南関東2勝。JRA馬は、仁川ステークス、コーラルステークスといった阪神のオープン特別戦や、年明け後の牝馬ダートグレード(今年は船橋・クイーン賞 JpnⅢが

該当)からの参戦組が好成績を収めており、ひとつの参考にしたい。

地方馬が好勝負するには、地元園田のコウノトリ賞、大井・東京シンデレラマイル(23年12月30日)や、グランダム・ジャパン古馬春シーズンの地方限定戦を複数勝利できるくらいの実力は要求されそうだ。

4/29 兵庫チャンピオンシップ JpnⅡ

●3歳春短距離路線の頂点

今年から距離が1400mとなり、3歳春の短距離路線の頂点競走に位置づけられる。1870m時代は、伏竜ステークス(中山1800m)組や、1800mの1勝クラスを勝ち上がった馬が結果を残していたが、今

兵庫チャンピオンシップ JpnⅡへの道



年からは昇竜ステークス、バイオレットステークスといった1400mのオープン特別戦組に注目か。同時期に行われるダート三冠の羽田盃 JpnⅠ(大井1800m)は当レースより中央馬の出走枠に限られるため、取得賞金上位でこちらに矛先を向けてきた馬は距離適性を見極める必要がある。また同舞台を経験しているという意味で、

2歳 JpnⅡ・兵庫ジュニアグランプリ出走馬にも注意したい。

地方馬は、各地で行われる3歳ネクスター4レースの各1着馬に優先出走権が与えられる。ただ距離が違とはいえ、過去10年で地方は兵庫の3着1回(19年バンローズキングス)のみ。打倒JRAは容易ではなさそうだ。

[参考] 2023年の兵庫ジュニアグランプリ JpnⅡ結果

	着順	枠番	馬番	馬名(所属)	性齢	重量	騎手	調教師	タイム・着差	人気	通過	次走	次々走
23.11.22 園田1400m 2歳 定量 晴・良 12頭	1	6	7	イーグルノワール(JRA)	牡2	55	松山弘	音無秀	1.29.4	1	3-3-3-1	全日本2歳優駿 JpnⅠ②	雲取賞 JpnⅢ④
	2	2	2	サトノフェニックス(JRA)	牡2	55	和田竜	西園正	ハナ	2	6-6-4-1	全日本2歳優駿 JpnⅠ⑤	
	3	4	4	ゼルトザーム(JRA)	牡2	55	濱中俊	加用正	5	5	10-9-7-5	全日本2歳優駿 JpnⅠ⑧	シンザン記念 GⅢ(芝)⑧
	4	5	6	ストリーム(北海道)	牡2	55	田中学	田中淳	クビ	7	8-8-5-6		
	5	6	8	ミトノウォリアー(名古屋)	牡2	55	岡部誠	角田輝	8	9	9-10-10-9	名古屋・弥富記念①	ゴールドジュニア①

※2024年2月20日現在

園田競馬場

サイヤーランキング

2022年2月1日～2024年1月31日

取得賞金ランキング

勝利数ランキング

■総合(3705レース)

種牡馬名	取得賞金(千円)	1着	出走回数	出走頭数	活躍馬(取得賞金順)
エスポワールシチー	230,028	72	411	53	パウチエイサー
シニスターミニスター	208,715	77	532	53	ラッキードリーム
ホッコータルマエ	174,573	65	458	55	ブリッツファンク
ロードカナロア	150,390	82	524	75	ジンギ
カレンブラックヒル	150,221	41	361	28	スマイルミーシャ

種牡馬名	1着	2着	出走回数	出走頭数	勝利回数	活躍馬(勝利回数順)
ロードカナロア	82	66	524	75	37	ナショナルアンセム
シニスターミニスター	77	60	532	53	35	ラッキードリーム
エスポワールシチー	72	51	411	53	33	パールプレミア
パイロ	69	52	586	57	31	エキソチックルナ
ホッコータルマエ	65	64	458	55	32	ナットグレースワン

■園田820m(265レース)

ロードカナロア	25,743	15	98	13	ダウントウンスピカ
エスポワールシチー	23,301	15	81	16	マルトクローレル
キンシャサノキセキ	20,450	12	63	18	イズジョードリーム

エスポワールシチー	15	15	81	16	10	マルトクローレル
ロードカナロア	15	9	98	13	5	ナリタブルホーク
キンシャサノキセキ	12	8	63	12	4	イズジョードリーム

■園田1230m(829レース)

サウスヴィグラス	32,100	13	109	24	ペルチャン
エスポワールシチー	26,785	15	74	24	パールプレミア
キンシャサノキセキ	24,239	9	145	31	グランドジュビリー

エスポワールシチー	15	5	74	24	9	プラチナステージ
サウスヴィグラス	13	16	109	24	6	ペルチャン
スマートファルコン	12	3	64	18	7	ミヤビプレツチャ

■園田1400m(2292レース)

エスポワールシチー	111,712	35	214	46	ケイアイドリー
シニスターミニスター	88,455	60	414	47	サンドストーム
ヘニーヒューズ	86,548	28	184	41	ボヌールパローズ

シニスターミニスター	60	48	414	47	31	トキノヒト
ロードカナロア	52	47	333	66	26	レッツゴーアスク
メイショウボーラー	50	33	424	48	23	メイショウシマト

■園田1700m(182レース)

カレンブラックヒル	33,400	5	13	4	スマイルミーシャ
シニスターミニスター	29,390	3	20	15	ラッキードリーム
ロージズインメイ	24,600	13	45	11	クラウドノイズ

ロージズインメイ	13	2	45	11	7	マッチョサスボ
エイシンヒカリ	7	2	28	11	4	エイシングラス
コパノリッキー	6	2	15	5	2	エコクラージュ

■園田1870m(135レース)

シニスターミニスター	71,710	6	16	8	ラッキードリーム
カレンブラックヒル	60,910	3	6	2	スマイルミーシャ
ホッコータルマエ	48,355	4	25	12	ブリッツファンク

オルフェーヴル	8	3	46	12	4	メイプルブリン
シニスターミニスター	6	2	16	8	3	ラッキードリーム
バルシャザール	5	5	41	15	3	ナムラハカ

※園田2400m(2レース)はレース数が少ないため割愛した。

重賞勝ち馬の血統を読む

文●平出貴昭(サラブレッド血統センター)

園田金盃・コウノトリ賞

スマイルミーシャ

2020年4月23日生まれ 牝 青鹿毛 兵庫・飯田良弘厩舎
生産・猿橋義昭(浦河郡浦河町)

カレンブラックヒル 黒鹿毛2009	ダイワメジャー 栗毛2001	サンデーサイレンス(USA) スカールレットブーケ
	チャールストンハーバー(USA) 鹿毛1998	Grindstone(USA) Penny's Valentine(USA)
クリスマドンナ 黒鹿毛2007	シンボリクリスエス(USA) 黒鹿毛1999	Kris S.(USA) Tee Kay(USA)
	オルモストフォアエヴァー(USA) 黒鹿毛2001	キングオブキングス(IRE) Truly Bound(USA)

昨年、牝馬として10年ぶりに兵庫ダービーを制したスマイルミーシャ。年明けの4歳初戦となったコウノトリ賞で重賞6勝目を飾り、さらなる飛躍を予感させている同馬の血統を詳しく見てみよう。

父カレンブラックヒルはダイワメジャーの初年度産駒で、2012年のNHKマイルCで父の産駒として初のGI制覇を果たした馬。軽快な先行力を武器に、3歳時には他に毎日王冠、ニュージーランドトロフィー、5歳時にダービー卿チャレンジトロフィー、6歳時に小倉大賞典と、芝1600～1800mの重賞5勝を含むJRA22戦7勝の成績を残した。

代表産駒の多くはクローバー賞のジョリ

ダム、ひまわり賞のヒノクニ、東京スポーツ杯2歳S・2着のアサヒ、エーデルワイス賞2着のアザワクなど、芝・ダート問わず2～3歳戦の重賞・オープンで活躍。近年はダートの勝ち鞍が増えており、2月18日現在、JRA107勝中、約75%を占める80勝がダートとなっている。距離は1200mが34勝と最多で、1400mが21勝で続き、短距離戦の好成績が目立っている。

地方競馬でも年々成績を伸ばしており、2023年は前年比35勝増の150勝を挙げ、サイヤーランキングも32位から17位にアップ。産駒は2021年東海菊花賞など重賞6勝のナムラマホーホ、2021年道営スプリントなど重賞4勝のアザワク、昨年の日本海スプリントなど重賞2勝のオヌシナニモノ、2021年若駒賞など重賞3勝のカクテルライトなど計7頭が重賞勝ち馬となっている。

スマイルミーシャの牝系を見ていこう。母クリスマドンナはJRAのダートと障害で1勝ずつの計2勝。姉妹は出走した5頭全てが地方で2勝以上を挙げている。

近親に重賞級はいないが、牝系を遡ると超一流で、曾祖母で米GⅡアシュランドSなど米国内で重賞3勝を挙げたトゥルーリーバウンドから大きく発展しており、孫の代



写真●兵庫競馬組合

コウノトリ賞で重賞6勝目としたスマイルミーシャ

にオクス馬シルクプリマドンナ、ひ孫の代に日経新春杯など重賞3勝のパフォーマプロミスが出ている。

さらにトゥルーリーバウンドの母ナタシュカは米国内でアラバマSなどの重賞勝ち馬にして世界的な牝系の祖であり、子孫で天皇賞・秋の勝ち馬ヘヴンリーロマンスは母としてアウォーディー、アムールブリエ、ラニと3頭の重賞勝ち馬を出した。

その他の子孫では、米GⅢポーカーHを勝ったイルーシヴクオリティが米二冠馬マーティジョーンズなどを出して種牡馬として成功し、クオリティロードなどを通じてその父系を伸ばしている。また、昨年はアップトゥザマークがターフクラシックSなど米GIを3勝し、米芝チャンピオンのタイトルを獲得。このファミリーは近年も世界的に勢いを保っている。

同じ兵庫所属のイグナイターもそうだが、牝系が優秀な馬は大きな成長力を秘めていることが少なくない。この牝系は牝馬の活躍馬が多いこともあり、スマイルミーシャの今後には大いに期待したい。

DIRT GRADE DATA 作戦

第73回 川崎記念 Jpn I 4月3日(水) 4歳以上 定量 川崎2100m 1着賞金 未定 フルゲート14頭	23.2.1 川崎 2100m 晴・良	5 ⑤ ウシュバテソーロ(JRA) 牡6 57 横山和生 2.16.0 2人 3 ③ テーオーケインズ(JRA) 牡6 57 松山弘平 1/2 1 1 ① ニューモニュメント(JRA) 牡7 57 小崎綾也 4 5 単勝⑤260円 枠連複(3-5)260円 馬連複(3-5)250円 枠連単(5-3)420円 馬連単(5-3)550円 3連複(1-3-5)630円 3連単(5-3-1)2,650円	●4月上旬に変更でメンバー強化か ダート競走の体系整備が行われ、古馬中距離路線は川崎記念の施行時期が1月下旬から4月上旬に変更となった。変更理由としては11月以降、JBCクラシック→チャンピオンズカップ→東京大賞典→川崎記念と3カ月の間にGI/JpnI競走が続いていたことが大きい。この状況だと本競走は目標になりづらかったが、4月上旬になればチャンピオンズカップや東京大賞典から出走しやすくなる。もしかすると、フェブラリーステークスやサウジカップ組の参戦も見込めるかもしれない。 過去5年ではチュウワウイザードやウシュバテソーロらが勝利。勝つためには中距離で現役トップクラスの実力が必要だ。
	22.2.2 川崎 2100m 晴・良	3 ③ チュウワウイザード(JRA) 牡7 57 川田将雅 2.14.9 1人 1 ① エルデューラージュ(船橋) セン8 57 本田正重 4 9 5 ⑥ ヴェルテックス(JRA) 牡5 57 横山武史 アタマ 3 単勝③120円 枠連複(1-3)3,570円 馬連複(1-3)3,230円 枠連単(3-1)4,660円 馬連単(3-1)3,960円 3連複(1-3-6)4,830円 3連単(3-1-6)19,090円	
	21.1.27 川崎 2100m 曇・重	1 ① カジノフォンテン(船橋) 牡5 57 張田 昂 2.14.9 4人 7 ⑧ オメガガフューム(JRA) 牡6 57 M.デムーロ 3 1 4 ④ ダノンファラオ(JRA) 牡4 56 川田将雅 3/4 3 単勝①640円 枠連複(1-7)490円 馬連複(1-8)570円 枠連単(1-7)1,290円 馬連単(1-8)1,470円 3連複(1-4-8)910円 3連単(1-8-4)6,190円	

第1回 兵庫女王盃 Jpn III 4月4日(木) 4歳以上牝馬 グレード別定 園田1870m 1着賞金 未定 フルゲート12頭 ※23年までは大井・TCK女王盃として実施	23.1.25 大井 1800m 晴・良	7 ⑦ グランブリッジ(JRA) 牝4 56 川田将雅 1.53.9 1人 2 ② ヴァレーデラルナ(JRA) 牝4 56 岩田雅来 1 2 5 ⑤ プリティーチャンス(JRA) 牝6 56 B.ムルガバエフ 2 3 単勝⑦260円 馬連複(2-7)280円 馬連単(7-2)530円 3連複(2-5-7)290円 3連単(7-2-5)990円	●園田に新設された古馬牝馬 DG 2024年に新設された4歳以上牝馬によるダート中距離戦(JpnIII)。23年まではTCK女王盃(大井ダート1800m)として1月中旬に実施されていた。5月上旬に行われるエンプレス杯(川崎・JpnII)の前哨戦でもある。 過去のTCK女王盃の結果を参考にして本競走を予測してみると、基本的にはJRA馬が中心だろう。前年のJBCレディスクラシック組が中心で、3着内馬が出走してくればかなり有力。穴馬候補は地方馬だが、コースが替わることで南関東所属馬のアドバンテージは失われるかもしれない。所属を問わず重要になりそうなのが、距離1800m以上の実績。
	22.1.26 大井 1800m 晴・良	8 ⑧ テオレーマ(JRA) 牝6 56 川田将雅 1.54.2 1人 5 ⑤ ショウナンナデシコ(JRA) 牝5 55 吉田隼人 フビ 4 6 ⑦ プランクチェック(JRA) 牝5 55 戸崎圭太 2 2 単勝⑧280円 枠連複(5-8)240円 馬連複(5-12)860円 枠連単(8-5)460円 馬連単(12-5)1,600円 3連複(5-7-12)1,070円 3連単(12-5-7)5,400円	
	21.1.20 大井 1800m 晴・良	4 ④ マルシュロレーヌ(JRA) 牝5 55 川田将雅 1.53.7 1人 8 ⑧ レーナブランシュ(JRA) 牝4 55 松山弘平 1/2 3 3 ③ プリンシアコメータ(JRA) 牝8 58 岩田康誠 2 1/2 4 単勝④190円 枠連複(4-8)730円 馬連複(4-9)710円 枠連単(4-8)1,000円 馬連単(4-9)1,030円 3連複(3-4-9)2,010円 3連単(4-9-3)5,610円	

第35回 東京スプリント Jpn III 4月10日(水) 4歳以上 グレード別定 大井1200m 1着賞金 未定 フルゲート16頭	23.4.19 大井 1200m 晴・稍重	1 ① リユウノユキナ(JRA) 牡8 56 横山武史 1.10.3 1人 6 ⑥ ケイアイドリー(JRA) 牡6 56 藤岡康太 3/4 2 4 ④ オーロラテソーロ(JRA) 牡6 56 鮫島克駿 1 4 単勝①270円 枠連複(1-6)370円 馬連複(1-6)540円 枠連単(1-6)550円 馬連単(1-6)990円 3連複(1-4-6)1,170円 3連単(1-6-4)4,260円
---	-----------------------	---

第25回 兵庫チャンピオンシップ Jpn II 4月29日(祝・月) 3歳 定量 園田1400m 1着賞金 未定 フルゲート12頭  写真●兵庫県競馬組合	23.5.3 園田 1870m 晴・良	5 ⑥ ミトノオー(JRA) 牡3 57 武 豊 2.00.7 1人 2 ② キリンジ(JRA) 牡3 57 下原 理 6 4 8 ⑧ メイショウオーロラ(JRA) 牝3 55 横山典弘 10 2 単勝⑥140円 枠連複(2-5)450円 馬連複(2-6)500円 馬連単(6-2)680円 3連複(2-6-11)330円 3連単(6-2-11)1,390円	●3歳春・短距離路線最大のレース 3歳ダート三冠競走(羽田盃・東京ダービー・ジャパンダートクラシック)の創設に伴い、本競走の位置づけも大きく変わる。従来は5月上旬に園田1870mで行われ、7月のジャパンダートダービーに向けて重要な一戦となっていた。しかし、2024年から距離が1400mに短縮され、3歳春季・短距離路線の頂点競走として生まれ変わった。こうなると思走メンバーの質がガラリと変化するので、今までとは全く違うレースになる。 それでも基本的にはJRA馬が中心の一戦だろう。注目すべきステップレースは、阪神ダート1400mで復活したバイオレットステークス。24年は3月31日に行われ、ローテーション的にも理想的な一戦となりそう。2月に行われるヒヤシンスステークス(東京ダート1600m)も有力で、中距離よりも短距離に適性がある馬が本競走を目指してくるかもしれない。前走1勝クラスを勝ったばかりでも能力が高ければ十分に通用するはず。阪神ダート1400mや京都ダート1400mで強い勝ち方をした馬には注目したい。 なお地方は全国4ブロックの3歳ネクストスターを勝った馬に、本競走への優先出走権が与えられる。
	22.5.4 園田 1870m 晴・良	6 ⑦ プリッツファング(JRA) 牡3 56 池添謙一 2.01.4 3人 3 ③ ノットゥルノ(JRA) 牡3 56 武 豊 8 2 7 ⑦ コンシリエーレ(JRA) 牡3 56 D.レーン 3/4 4 単勝⑦400円 枠連複(3-6)610円 馬連複(3-7)600円 馬連単(7-3)1,260円 3連複(3-7-9)1,040円 3連単(7-3-9)5,010円	
	21.5.4 園田 1870m 晴・良	6 ⑦ リプレーザ(JRA) 牡3 56 幸 英明 2.02.5 2人 5 ⑤ ゴッドセレクション(JRA) 牡3 56 中井裕二 1/2 1 7 ⑦ ランスオブアース(JRA) 牝3 54 泉谷楓真 3 1/2 4 単勝⑦500円 枠連複(5-6)250円 馬連複(5-7)230円 馬連単(7-5)820円 3連複(5-7-9)530円 3連単(7-5-9)3,300円	
	20.5.6 園田 1870m 曇・良	7 ⑦ バーナードループ(JRA) 牡3 56 C.ルメール 2.01.7 1人 7 ⑦ ダノンファラオ(JRA) 牡3 56 坂井瑠星 フビ 2 6 ⑥ サンデーミラージュ(JRA) 牡3 56 松若風馬 9 3 単勝⑦210円 枠連複(7-7)230円 馬連複(9-10)240円 馬連単(9-10)460円 3連複(7-9-10)330円 3連単(9-10-7)1,080円	
	19.5.2 園田 1870m 晴・重	7 ⑦ クリソベリル(JRA) 牡3 56 C.ルメール 1.57.3 1人 8 ⑧ ヴァイトブリック(JRA) 牡3 56 戸崎圭太 5 2 5 ⑤ パンローズキングス(兵庫) 牡3 56 吉村智洋 2 1/2 7 単勝⑦110円 枠連複(7-8)130円 馬連複(9-12)130円 馬連単(9-12)170円 3連複(5-9-12)10,370円 3連単(9-12-5)26,980円	

LOTO 高額配当ランキング

Odds Park 2023年12月1日～2024年2月29日

【五重勝単勝式】					
第1位	2,376,250円(4口)	1/2 帯広	第5位	1,771,940円(2口)	12/8 笠松
第2位	2,355,920円(1口)	2/15 姫路	第6位	1,662,080円(1口)	12/10 水沢
第3位	2,217,250円(3口)	2/10 帯広	第7位	1,582,490円(1口)	12/26 水沢
第4位	2,170,250円(3口)	1/26 姫路	第8位	1,426,180円(1口)	1/10 園田
【七重勝単勝式】					
第1位	3,408,750円(4口)	12/16 帯広	第2位	1,661,610円(3口)	1/27 帯広

第36回 かしわ記念 Jpn I 5月1日(水) 4歳以上 定量 船橋1600m 1着賞金 未定 フルゲート14頭	23.5.4 船橋 1600m 晴・良	② ② メイショウハリオ (JRA) 牡6 57 濱中 俊 1.39.3 2人気 ⑧ ③ タガノピューティー (JRA) 牡6 57 石橋 脩 クビ 5 ⑤ ⑦ ハヤブサナンデン (JRA) 牡7 57 津村明秀 1/2 3 単勝② 320円 枠連複(2-8) 2,280円 馬連複(2-13) 2,440円 枠連単(2-8) 3,010円 馬連単(2-13) 3,250円 3連複(2-7-13) 3,160円 3連単(2-13-7) 16,190円	●フェブラリーステークス組が中心 過去5年の3着内馬15頭中14頭はJRA所属で、そのうち9頭の前走がフェブラリーステークス。2020年は上位を独占するなど、同レースからの参戦馬が毎年1頭は馬券に絡んでいる。ただ、着順が直結するわけではないので注意が必要。コース替わりで逆転することも十分考えられる。 地方馬で唯一好走を果たした21年1着カジノフォンテン(船橋)は前走京成盃グランドマイルーズで1着。また、牝馬で勝利した22年ショウナンナデシコは前走マリーンカップで1着だった。このように前走船橋で勝利している馬はもちろん、他場のレースでも前走1着の好調馬はマークしたい。
	22.5.5 船橋 1600m 晴・稍重	① ① ショウナンナデシコ (JRA) 牝5 55 吉田隼人 1.38.9 2人気 ② ② ソリストサンダー (JRA) 牡7 57 戸崎圭太 1 1/2 5 ③ ③ テイエムサウズダン (JRA) 牡5 57 岩田康誠 3 1 単勝① 410円 枠連複(1-2) 1,620円 馬連複(1-2) 1,610円 枠連単(1-2) 2,350円 馬連単(1-2) 2,510円 3連複(1-2-3) 840円 3連単(1-2-3) 5,220円	
	21.5.5 船橋 1600m 小雨・稍重	⑤ ⑥ カジノフォンテン(船橋) 牡5 57 張田 昂 1.39.3 2人気 ⑧ ⑪ ソリストサンダー (JRA) 牡6 57 戸崎圭太 ハナ 6 ⑦ ⑩ インティ (JRA) 牡7 57 武 豊 1 1/2 4 単勝⑥ 360円 枠連複(5-8) 640円 馬連複(6-11) 1,640円 枠連単(5-8) 1,070円 馬連単(6-11) 2,690円 3連複(6-10-11) 3,490円 3連単(6-11-10) 16,320円	

第24回 名古屋グランプリ Jpn II 5月6日(振・月) 4歳以上 グレード別定 名古屋2100m 1着賞金 未定 フルゲート12頭	23.12.21 名古屋 2100m 晴・良	③ ⑫ ディクテオン (JRA) セン5 57 岡部 誠 R 2.12.4 2人気 ⑤ ⑥ グランブリッジ (JRA) 牝4 55 川田将雅 2 1 ① ① テリオスベル (JRA) 牝6 54 江田照男 6 5 単勝⑫ 240円 枠連複(5-8) 240円 馬連複(6-12) 280円 馬連単(12-6) 480円 3連複(1-6-12) 730円 3連単(12-6-1) 2,300円	●2000m以上での実績がほしい 名古屋競馬場の移転に伴い、2022年から新コースとなり、距離は2100mに短縮。さらに24年からは施行時期が12月上旬から5月上旬となり、4歳以上による一戦となる。近い時期にJRAで行われる平安ステークスとともに、帝王賞に向けての重要な一戦となるだろう。 過去のデータはほとんど参考にならないが、JRA馬が中心になることは間違いない。従来は浦和記念組が強かったことを考えると、ダイオライト記念や川崎記念といった距離2000m以上のJpn IやJpn IIで好走実績がある馬が有力だろう。JRAのレースでは東京ダート2100mのオープン特別実績馬が侮れないとみる。
	22.12.8 名古屋 2100m 晴・良	⑦ ⑨ ペイシャエス (JRA) 牡3 55 菅原明良 2.15.1 1人気 ③ ⑧ ヴァンヤール (JRA) 牡4 56 篠野 極 ハナ 5 ② ② ラーゴム (JRA) 牡4 56 飯島克駿 3 4 単勝⑨ 230円 枠連複(6-7) 740円 馬連複(8-9) 780円 馬連単(9-8) 1,180円 3連複(2-8-9) 1,040円 3連単(9-8-2) 4,250円	
	21.12.23 名古屋 2500m 晴・稍重	③ ⑪ ヴェルテックス (JRA) 牡4 56 横山武史 2.45.4 1人気 ⑦ ⑧ ケイアイパープル (JRA) 牡5 56 松山弘平 2 1/2 2 ④ ④ ダンビュライト (JRA) セン7 57 松若風馬 4 4 単勝⑪ 210円 枠連複(7-8) 260円 馬連複(8-11) 260円 馬連単(11-8) 510円 3連複(4-8-11) 830円 3連単(11-8-4) 2,710円	

第70回 エンプレス杯 Jpn II 5月8日(水) 4歳以上牝馬 定量 川崎2100m 1着賞金 未定 フルゲート14頭	23.3.1 川崎 2100m 曇・良	② ② グランブリッジ (JRA) 牝4 56 川田将雅 2.18.7 1人気 ① ① ヴァレーデラルナ (JRA) 牝4 57 岩田望来 2 1/2 2 ⑥ ⑥ テリオスベル (JRA) 牝6 55 江田照男 クビ 3 単勝② 160円 枠連複(1-2) 190円 馬連複(1-2) 190円 枠連単(2-1) 250円 馬連単(2-1) 280円 3連複(1-2-6) 280円 3連単(2-1-6) 770円
		23.6.14 川崎 2100m 曇・稍重

第60回 関東オークス Jpn II 6月12日(水) 3歳牝馬 定量 川崎2100m 1着賞金 未定 フルゲート14頭	23.6.14 川崎 2100m 曇・稍重	⑦ ⑩ パライバトルマリン (JRA) 牝3 54 戸崎圭太 2.20.4 3人気 ③ ③ グレメダンジュ (JRA) 牝3 54 和田竜二 1 5 ⑦ ⑪ メイショウオーロラ (JRA) 牝3 54 横山典弘 3/4 1 単勝⑩ 420円 枠連複(3-7) 780円 馬連複(3-10) 1,930円 枠連単(7-3) 1,220円 馬連単(10-3) 3,220円 3連複(3-10-11) 1,680円 3連単(10-3-11) 11,660円
---	--------------------------------	--

第28回 さきたま杯 Jpn I 6月19日(水) 3歳以上 定量 浦和1400m 1着賞金 未定 フルゲート12頭	23.5.31 浦和 1400m 晴・重	③ ③ イグナイター(兵庫) 牡5 56 笹川 翼 1.25.3 7人気 ④ ④ スマイルウイ (船橋) 牡6 56 矢野貴之 クビ 5 ⑧ ⑧ パスラットレオン (JRA) 牡5 57 坂井瑠星 1 1/2 3 単勝③ 2,000円 枠連複(3-4) 10,140円 馬連複(3-4) 6,280円 枠連単(3-4) 16,190円 馬連単(3-4) 21,950円 3連複(3-4-9) 11,690円 3連単(3-4-9) 103,970円	●1400mの常設Jpn Iが誕生 2024年からJpn IIに昇格し定量戦に。5月下旬から6月中旬への時期変更で、3歳以上の短距離路線における上半期の最大目標となった。国内で1400mのJpn Iが初めて常設されるという点において大きな意味を持つことになるだろう。 過去5年を振り返ると、3着内馬15頭中JRA馬が8頭、地方馬が7頭と非常に拮抗している。特に南関東所属馬の活躍が目立っており、浦和1400mの実績豊富な馬は相当なアドバンテージがある。8歳や9歳といったベテラン勢も侮れない。JRA馬の取捨は難しい。時期が繰り下がっても、一応、かしわ記念やフェブラリーステークス組が有利で、その中で距離1400mが得意で先行力があると良い。
	22.6.1 浦和 1400m 曇・良	③ ⑩ サルサディオオーネ(大井) 牝8 55 矢野貴之 1.25.3 5人気 ⑤ ⑤ ティーズダック(浦和) 牡5 56 和田譲治 アタマ 3 ⑥ ⑥ シャマル (JRA) 牡4 56 川須栄彦 アタマ 2 単勝⑩ 1,050円 枠連複(5-8) 1,630円 馬連複(5-10) 3,400円 枠連単(8-5) 3,250円 馬連単(10-5) 7,160円 3連複(5-6-10) 3,570円 3連単(10-5-6) 31,790円	
	21.6.3 浦和 1400m 曇・良	① ① アルクトス (JRA) 牡6 58 田邊裕信 1.24.9 1人気 ② ② エアスピネル (JRA) 牡8 56 飯島克駿 1 1/2 2 ④ ④ ワイドファラオ (JRA) 牡5 58 福永祐一 2 1/2 3 単勝① 220円 枠連複(1-2) 540円 馬連複(1-2) 500円 枠連単(1-2) 890円 馬連単(1-2) 740円 3連複(1-2-4) 470円 3連単(1-2-4) 2,100円	

第47回 帝王賞 Jpn I 6月26日(水) 4歳以上 定量 大井2000m 1着賞金 未定 フルゲート16頭	23.6.28 大井 2000m 曇・良	④ ④ メイショウハリオ (JRA) 牡6 57 濱中 俊 2.01.9 2人気 ② ② クラウンプライド (JRA) 牡4 57 川田将雅 ハナ 4 ① ① テーオーケインズ (JRA) 牡6 57 松山弘平 アタマ 1 単勝④ 390円 枠連複(2-4) 1,350円 馬連複(2-4) 1,340円 枠連単(4-2) 2,620円 馬連単(4-2) 2,550円 3連複(1-2-4) 870円 3連単(4-2-1) 7,220円	●JRAが中心も1番人気は不振 過去5年で優勝したのはすべてJRA馬で5番人気以内だが、1番人気は勝っていない。意外にも2022年、23年のメイショウハリオが帝王賞史上初の連覇であったように、一筋縄ではない面がある。絶対割引というわけではないが、海外遠征明けの場合は隙が生じる可能性がある。前走はJRAならばダート中距離重賞、地方ならばかしわ記念が有力だ。 JRAからは実績が豊富な馬ばかりが出てくるので、基本的には上位人気馬をマークすればいい。穴を期待するのであれば地方馬に託すしかない。元JRA馬ではあるがノンコノユメ(大井)が19年3着、21年2着と人気薄で激走した。大井2000mに実績・適性がある馬はチャンスがある。
	22.6.29 大井 2000m 晴・良	⑧ ⑨ メイショウハリオ (JRA) 牡5 57 濱中 俊 2.03.3 5人気 ⑥ ⑥ チュウフウウィザード (JRA) 牡7 57 川田将雅 クビ 3 ② ② オメガパフューム (JRA) 牡7 57 M.テムロ 1 1/2 2 単勝⑨ 1,920円 枠連複(6-8) 500円 馬連複(6-9) 3,960円 枠連単(8-6) 660円 馬連単(9-6) 11,700円 3連複(2-6-9) 3,180円 3連単(9-6-2) 40,390円	
	21.6.30 大井 2000m 曇・重	④ ④ テーオーケインズ (JRA) 牡4 57 松山弘平 2.02.7 4人気 ⑦ ⑦ ノンコノユメ(大井) セン9 57 真島大輔 3 10 ⑧ ⑧ クリンチャー (JRA) 牡7 57 C.ルメル クビ 6 単勝④ 740円 枠連複(4-7) 1,430円 馬連複(4-11) 104,960円 枠連単(4-7) 2,440円 馬連単(4-11) 148,250円 3連複(4-11-13) 104,120円 3連単(4-11-13) 2,387,990円	



読者プレゼント

① 鴨宮祥行騎手 直筆サイン色紙…2名様
提供：鴨宮祥行騎手

② オッズパーク特製ボールペン…10名様
提供：オッズ・パーク株式会社

ご希望の方は官製はがきに、①ご希望のプレゼント名、②住所・氏名、③年齢、④本誌に対するご意見・感想、⑤Odds Parkを利用しておの感想、⑥Odds Parkへのご意見・要望、⑦電話番号を明記の上、下記まで、締切は4月22日(月)の消印有効。当選者の発表は景品の発送をもって代えさせていただきます。なお、個人情報については景品の発送以外の目的では使用いたしません。
〒901-0298 沖縄県豊見城市豊崎 オッズパークサポートセンター OPCプレゼント係

開催日程

☆☆ ナイター開催時の投票開始時間 ☆☆☆
 名古屋、兵庫(園田)、高知…………… ナイター開催当日 10:00 ~
 ばんえい帯広、佐賀、ホッカイドウ、南関東…………… ナイター開催当日 12:00 ~

DG ダートグレード開催日 重賞 重賞開催日
 ●: デイ開催 ●: 薄暮取扱 ●: ナイター取扱

4月	1月	2火	3水	4木	5金	6土	7日	8月	9火	10水	11木	12金	13土	14日	15月	16火	17水	18木	19金	20土	21日	22月	23火	24水	25木	26金	27土	28日	29月	30火			
ばんえい帯広																				●	●	●	●				●	重賞	●	ばんえい			
岩手盛岡/水沢							水沢	水沢	水沢					水沢	水沢	水沢						水沢	水沢	水沢				水沢	水沢	水沢	岩手		
金沢		●	●						●	●						●	重賞					重賞		●					重賞		●	金沢	
笠松	●		●	●	●												●	●	●										●	重賞	●	笠松	
名古屋										重賞	●	重賞	●																	●	●	●	名古屋
兵庫園田/姫路		園田	園田	園田					園田	園田	園田					園田	園田	園田											園田	園田		●	兵庫
高知							●	●						●	重賞							●	●						●	●		高知	
佐賀						●	重賞							●							●	重賞					●	●	重賞			佐賀	
北海道・南関DG			川崎 DG									大井 DG																				北海道・南関	

5月	1水	2木	3金	4土	5日	6月	7火	8水	9木	10金	11土	12日	13月	14火	15水	16木	17金	18土	19日	20月	21火	22水	23木	24金	25土	26日	27月	28火	29水	30木	31金		
ばんえい帯広				●	重賞	●					●	●	●					●	●	●						●	●	●				ばんえい	
岩手盛岡/水沢					盛岡	盛岡	盛岡					盛岡	盛岡	盛岡						盛岡	盛岡	盛岡					盛岡	盛岡	盛岡			岩手	
金沢				重賞		●						●	●							重賞		●							●	●		金沢	
笠松								●	重賞	●													●	●	●							笠松	
名古屋	●	●	重賞		DG										●	●	●			●									●	重賞	●	●	名古屋
兵庫園田/姫路	園田	園田						園田	園田	園田					園田	園田	園田						園田	園田	園田				園田	園田	園田	●	兵庫
高知					重賞	●					●	●							●	●							●	重賞				高知	
佐賀		●	●								●	●	●						●	重賞							●	重賞	●			佐賀	
北海道・南関DG	船橋 DG																															北海道・南関	

6月	1土	2日	3月	4火	5水	6木	7金	8土	9日	10月	11火	12水	13木	14金	15土	16日	17月	18火	19水	20木	21金	22土	23日	24月	25火	26水	27木	28金	29土	30日		
ばんえい帯広	●	●	●					●	●	●					●	重賞	●						●	重賞	●					●	●	ばんえい
岩手盛岡/水沢		水沢	水沢	水沢						水沢	水沢	水沢				水沢	水沢	水沢						水沢	水沢	水沢					盛岡	岩手
金沢		重賞		●						重賞	●					重賞		●						重賞	●							金沢
笠松				●	●	重賞	●											●	●	●	重賞	●										笠松
名古屋												●	重賞	●			●										●	●	●			名古屋
兵庫園田/姫路					園田	園田	園田					園田	園田	園田						園田	園田	園田					園田	園田	園田			兵庫
高知	●	●						●	●						●	重賞								●	●					●	●	高知
佐賀	●	●						●	●		●				●	重賞								●	●	●				●	重賞	佐賀
北海道・南関DG												川崎 DG										浦和 DG						大井 DG				北海道・南関

※日程は変更となる場合がございますのでご注意ください。
 ※ホッカイドウ競馬、南関東地区で行われるダートグレード競走については、市中銀行会員のみ投票できます。

重賞&ダートグレード日程(2024年4月~6月)

月	競馬場	実施日	競走名	競走条件	距離	備考
4月	川崎	3(水)	第73回 川崎記念JpnI	DG 4歳以上	2,100	中央・地方全国交流
	園田	3(水)	第56回 菊水賞	重賞 3歳	1,700	
	園田	4(木)	第1回 兵庫女王盃JpnIII	DG 4歳以上牝馬	1,870	中央・地方全国交流
	水沢	7(日)	第49回 スプリングカップ	重賞 3歳	1,600	
	佐賀	7(日)	第23回 ル・プランタン賞	重賞 3歳牝馬	1,800	地方全国交流
	名古屋	9(火)	第64回 東海桜花賞	重賞 4歳以上	2,100	地方全国交流
	大井	10(水)	第35回 東京スプリントJpnIII	DG 4歳以上	1,200	中央・地方全国交流
	名古屋	11(木)	第30回 東海クイーンカップ	重賞 3歳牝馬	1,700	地方全国交流
	水沢	14(日)	第49回 赤松杯	重賞 3歳以上	1,600	
	高知	14(日)	第40回 二十四万石賞	重賞 4歳以上	1,900	
	金沢	16(火)	第5回 ノトキリシマ賞	重賞 3歳牝馬	1,500	
	水沢	21(日)	第24回 留守杯日高賞	重賞 3歳牝馬	1,600	地方全国交流
	金沢	21(日)	第34回 金沢スプリングカップ	重賞 4歳以上	1,500	
	佐賀	21(日)	第8回 佐賀ヴィーナスカップ	重賞 4歳以上牝馬	1,400	地方全国交流
	帯広	28(日)	第18回 ばんえい十勝オッズパーク杯	重賞 4歳以上選抜	200	
	水沢	28(日)	第36回 栗駒賞	重賞 3歳以上	1,400	
	金沢	28(日)	第32回 北日本新聞杯	重賞 3歳	1,700	
	佐賀	28(日)	第12回 佐賀皐月賞	重賞 3歳	1,800	
	笠松	29(祝・月)	第6回 飛山濃水杯	重賞 3歳以上	1,400	北陸・東海・近畿・四国・九州地区交流
園田	29(祝・月)	第25回 兵庫チャンピオンシップJpnII	DG 3歳	1,400	中央・地方全国交流	
5月	船橋	1(水)	第36回 かしわ記念JpnI	DG 4歳以上	1,600	中央・地方全国交流
	園田	1(水)	第1回 西日本クラシック	重賞 3歳	1,870	北陸・東海・近畿・四国・九州地区交流
	園田	2(木)	第60回 兵庫大賞典	重賞 4歳以上	1,400	
	名古屋	3(祝・金)	第63回 駿蹄賞	重賞 3歳	2,000	
	金沢	4(祝・土)	第5回 利家盃	重賞 4歳以上	2,000	
	帯広	5(祝・日)	第17回 カーネーションカップ	重賞 3歳以上牝馬	200	
	盛岡	5(祝・日)	第44回 ダイヤモンドカップ	重賞 3歳	1,800	北海道・東北・南関東地区交流
	高知	5(祝・日)	第28回 黒潮皐月賞	重賞 3歳	1,400	
	名古屋	6(振・月)	第24回 名古屋グランプリJpnII	DG 4歳以上	2,100	
	川崎	8(水)	第70回 エンプレス杯JpnII	DG 4歳以上牝馬	2,100	中央・地方全国交流
	笠松	9(木)	第50回 新緑賞	重賞 3歳	1,400	
	園田	9(木)	第62回 のじぎく賞	重賞 3歳牝馬	1,700	地方全国交流
	盛岡	12(日)	第49回 シアンモア記念	重賞 3歳以上	1,600	
	盛岡	19(日)	第12回 イーハトーブマイル	重賞 3歳	1,600	
	金沢	19(日)	第5回 お松の方賞	重賞 3歳以上牝馬	1,500	北陸・東海地区交流
	佐賀	19(日)	第7回 佐賀スプリングカップ	重賞 3歳以上	1,800	
	笠松	23(木)	第33回 オグリキャップ記念	重賞 4歳以上	1,400	地方全国交流
	盛岡	26(日)	第25回 あすなろ賞	重賞 3歳以上	1,800	
	高知	26(日)	第15回 福永洋一記念	重賞 4歳以上	1,600	
佐賀	26(日)	第66回 栄城賞	重賞 3歳	2,000		
名古屋	29(水)	第54回 東海優駿	重賞 3歳	2,100		
6月	水沢	2(日)	第48回 ウイナーカップ	重賞 3歳	1,400	
	金沢	2(日)	第67回 百万石賞	重賞 3歳以上	2,100	
	笠松	6(木)	第48回 クイーンカップ	重賞 3歳牝馬	1,600	
	園田	6(木)	第62回 六甲盃	重賞 4歳以上	1,870	地方全国交流
	水沢	9(日)	第9回 早池峰スーパーズプリント	重賞 3歳以上	850	
	金沢	9(日)	第8回 石川優駿	重賞 3歳	2,000	
	川崎	12(水)	第60回 関東オークスJpnII	DG 3歳牝馬	2,100	中央・地方全国交流
	名古屋	13(木)	第30回 トリトン争覇	重賞 3歳以上	1,700	
	園田	13(木)	第14回 園田FCスプリント	重賞 3歳以上	820	近畿・四国地区交流
	金沢	15(土)	第7回 日本海スプリント	重賞 3歳以上	1,400	
	帯広	16(日)	第32回 北斗賞	重賞 3歳以上	200	
	水沢	16(日)	第32回 東北優駿	重賞 3歳	2,000	
	高知	16(日)	第52回 高知優駿	重賞 3歳	1,900	地方全国交流
	佐賀	16(日)	第1回 佐賀がばいすプリント	重賞 3歳以上	900	
	浦和	19(水)	第28回 さきたま杯JpnI	DG 3歳以上	1,400	中央・地方全国交流
	笠松	20(木)	第7回 ぎふ清流カップ	重賞 3歳	1,400	北陸・東海・近畿・四国・九州地区交流
	帯広	23(日)	第18回 柏林賞	重賞 4歳	200	
	水沢	23(日)	第52回 一條記念みちのく大賞典	重賞 3歳以上	2,000	
	金沢	23(日)	第11回 加賀友禅賞	重賞 3歳牝馬	1,400	
大井	26(水)	第47回 帝王賞JpnI	DG 4歳以上	2,000	中央・地方全国交流	
盛岡	30(日)	第17回 サファイア賞	重賞 3歳	芝2,400		
佐賀	30(日)	第4回 佐賀ユースカップ	重賞 3歳	1,400		

※開催内容が変更となる場合がございますのでご注意ください。

3歳ダート短距離馬の新たな頂点へ!

昨年度優勝馬：ミトノオー
騎手：武豊

兵庫チャンピオンシップ JpnII

2024年 4月29日(祝月) 3歳 1,400m

キャンペーン開催決定!詳細は 4月下旬オッズパークサイトにて公開!

●オッズパークで投票できる勝馬投票券

すべてのレースに投票できます

競馬場	場番号	最大出走頭数	単勝(単)	複勝(複)	連勝複式		連勝単式		三連勝		重勝式			投票方式				
					枠番 枠複	馬番 普通(馬複) 拡大(ワイド)	枠番 枠単	馬番 馬単	三連複	三連単	セレクト5	セレクト7	ランダム7	電話投票ARS	インターネット投票			携帯投票
															オッズパーク投票	クラシック投票	携帯投票	
ばんえい帯広	03	10	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
盛岡	11	16	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
水沢	12	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
金沢	41	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
笠松	42	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
名古屋	43	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
園田	51	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
姫路	52	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
高知	55	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
佐賀	61	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

※販売賭式は変更になる場合がございます。 ※重勝式は、インターネット投票(クラシック投票は除く)のみ投票できます。

ダートグレード競走のみ投票することができます(市中銀行会員のみ投票できます)

ホッカイドウ門別	場番号	最大出走頭数	単勝	複勝	連勝複式	連勝単式	三連勝	重勝式	電話投票ARS	インターネット投票	携帯投票
浦和	31	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●
船橋	32	14	●	●	●	●	●	●	●	●	●
大井	33	16	●	●	●	●	●	●	●	●	●
川崎	34	14	●	●	●	●	●	●	●	●	●

オッズパーク
サポートセンター

電話 0570-006889 (ナビダイヤル) / 03-6837-4500 FAX 098-851-0988
受付時間 10:00~21:00(ナイター非開催日は17:30まで) ※施設点検日およびメンテナンス日は休業

インターネット投票

パソコン
<https://www.oddspar.com/>
携帯
<http://m.oddspar.com/>
スマートフォン
<https://sp.oddspar.com/>

電話投票

0570-011100(ナビダイヤル)
03-6833-0111

※投票はどちらの投票用電話番号でもご利用になれます。

レース結果案内(全主催者共通)

0570-011555(ナビダイヤル)
03-6748-0100
03-6748-0101

※番号をよくご確認のうえ、お間違のないようお願いいたします。

※[0180] [0570] で始まる電話番号は、一部の携帯電話・PHSからはご利用になれません。また、NTT以外の電話会社と契約されている場合はご利用いただけません。

※[0180] で始まる電話番号は(固定電話)音源所在地までの一般ダイヤル通話料(携帯電話)全国一律14秒10円(3分130円)がかかりますのでご注意ください。

※ナビダイヤル([0570]で始まる電話番号)の通常電話からの通話料金は、全国一律で一般電話からは1分10円、携帯電話からは20秒10円です。